

発言No.

10

受付No. 13

令和3年11月19日

10時19分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1、総合振興計画後期基本計画の推進について

- ① 総合振興計画審議会からの答申による、後期基本計画について、市の案として決定する具体的な手順はどうか。市の最高意思決定機関である「庁議」での議か。地域協議会に諮るのかなど、計画の策定とその推進の考えはどうか。

#### 2、抜本的な協働のまちづくりの推進体制について

- ① 協働のまちづくり推進は、自治区制度後の市政推進の大命題であるが、総合振興計画後期基本計画では、協働のまちづくりを進める足下である。まちづくり推進委員会の組織化、住民の町内会加入率の向上などが掲げているが、目標値が低いがこれを高く掲げ、計画推進を加速すべきではないか。
- ② 協働のまちづくり推進の基盤を整える必要があるが、その母体となるべきまちづくり推進委員会、連合自治会、自主防災組織、地区社会福祉協議会などがバラバラに運営されている。市として、住民の生活、地域の安全安心、健康づくり、地域福祉、地域行事など、地域がまとまって推進する体制づくりのため、これら組織や機能などの整理統合、連携の仕組みづくりの考えはないか。
- ③ 協働のまちづくり推進は、市各部署にまたがるが、行政のたて割りを排した一元化の体制づくり、関係団体や外郭団体も関係するが、これらとの具体的な連携の仕組みづくりなど、態勢の確立を進める考えはないか。

#### 3、歴史文化保存展示施設のこれからについて

- ① 市民の理解を得る、深める具体策について、どのようなことを考えていて、どう進める考えか。その態様、スケジュールなどをお示しいただきたい。
- ② 歴史文化保存展示施設基本計画では、「学校教育との連携による児童生徒を中心とし、地域の博物館として活用する」とされているが、具体的にどのように考え、現在行われている学校教育の内容をどのように発展させていくのか。具体例があるのか。

- ③ 古代国庁、たたら製鉄、中世山城、浜田藩、明治維新、北前船、石見神楽、未成線、浜田連隊、その間の地域での様々な営みなど歴史資源も地域資源もあるが、これらに改めて光を当て掘り起こす、具体的な推進方策はどうか。これを進める体制づくりが必要ではないか。

#### 4、新型コロナウイルスへの対応策について

- ① 新型コロナウイルス感染予防の呼びかけをしたにもかかわらず、飲食店、介護施設などで集団感染が発生したが、その要因をどのようにとらえていて、市民に対して適切な感染予防につながる呼びかけであったのか。市や県の感染予防の呼びかけ方などにどのような課題があり、どう改革していくのか。
- ② 感染が拡大し、集客を伴うあらゆる行事、事業などが軒並み中止され、地域活動や市民活動が停滞したが、市としてこれからのコロナ時代の新たな集まりの行事、事業などを進めるための対策、新たな方策を打ち出す考えはないか。
- ③ 飲み薬が実用化され、ワクチン接種も新たな段階に入り、コロナと共生する時代に入るが、今ある感染予防策の徹底、ワクチン接種済み証明の発行と市中での対応策、あらゆる機会での抗原検査実施の支援、これらの記録とその共有など市における感染予防の徹底、保健所との連携、疫学調査への支援などを進める必要があるが、専門職の拡充など具体的な市の体制づくりが必要ではないか。